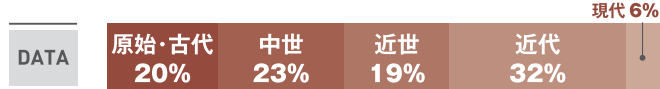


▶ 東京家政大学の

日本史

JAPANESE HISTORY

▶ 出題時代



全時代からバランスよく出題！
時代をまたぐ通史も出題！

大問1は古代から現代にかけて通史が出題されている。原始・古代、中世、近世、近現代が大問別に扱われており、大問5では現代からも出題されている。年代整序問題で各時代の特徴の理解を問う出題がみられた。近代からの出題割合が32%とやや高いが、中世・古代・近世もそれぞれ20%程度出題されるなど全時代からバランスよく出題されている。

▶ 出題分野



全分野からバランスよく出題！
政治史が頻出！

全分野からバランスよく出題されている。2021・2022年度は、政治史が44%と頻出である。また文化史・外交史も20%程度、社会経済史は10%程度出題されている。「中世の政治・外交・文化」というように、大問として時代ごとに、複数の分野がまとめて出題されることが多い。また、「神社や神道」など一つのテーマを題材にして複数の分野が問われたり、地図を用いた出題がみられた。

東京家政大学 日本史の攻略法

1 時代は偏りなく、分野では政治史・文化史・外交史を押さえておこう！

時代は偏りない対策が必要である。古代・中世・近世は為政者の政策を軸に知識を整理しておきたい。近現代も出題されるので、早めに教科書を一通り読んでおこう。また、頻出分野である政治史・文化史・外交史の対策が必要である。政治史・外交史は時代ごとに重要な出来事を中心に年表にまとめて整理しておこう。文化史は教科書に出てくる重要事項について、作品と人名などをセットにして時代ごとに整理しておこう。

2 重要な出来事は時系列と因果関係、歴史用語は正確な内容を理解しておこう！

全問が選択式の出題。5大問、35小問の構成である。設問形式は文章選択問題・文章正誤問題・年代整序問題が頻出なので、断片的な知識の丸暗記では対応できない。攻略するには、重要な出来事については、時系列を押さえたうえで、原因や結果などの因果関係を含めて内容を理解しておくことが必要となる。また用語の組合せ問題が頻出なので、歴史用語を正確に理解することが必要となる。

▶ 東京家政大学の

化学基礎

CHEMISTRY

▶ 出題分野



化学基礎の全範囲からまんべんなく出題
「酸化・還元」と「化学と人間生活」に注意

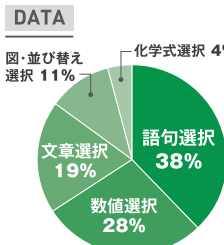
化学基礎の全範囲から広く出題される。分野に大きな偏りはないが、「酸化・還元」と「化学と人間生活」に重きを置いているのが特徴といえる。前者は、素材として酸化還元滴定がしばしば扱われ、周辺知識を広く問われることが多い。反応式と酸化数の変化、溶液の色の変化や濃度計算について、演習を通して身につけておきたい。また後者は、教科書で扱われるページは少ないが、対策が後回しになりがちなので、確認を忘れずに

▶ 出題形式

語句・数値の割合が高い
組合せ問題が多く、正確な判断力を要求される

解答はすべてマークシート方式で、解答数は約30個。語句選択と数値選択の出題割合が高く、この二つで60%を超える。

全体的に、組合せて解答する問題が多く、「pHの大きい順に並べたもの」「融点が低い順に並べたもの」のような並び替え問題が頻出である。正確な知識と判断力が求められるほか、大小どちらの順に並べるのかといったところで細かく注意しよう。



東京家政大学 化学基礎の攻略法

1 基礎知識の習得が必須！ 偏りのない学習が重要となる！

幅広い知識を要する問題が出されている。どの単元でも教科書の太字の語句については、自分の言葉で説明できるようにしておくことが重要だ。あいまいな理解のものが残っていないかを教科書で確認しておこう。

2 計算問題の演習が重要！ 正確に計算できるようにしておこう！

計算問題では見直しをしやすくするために、途中の計算式を書きながら演習を行おう。指数を含む計算もあるので、実際に自分で書く練習は欠かせない。過去問題で出題形式に慣れ、素早く計算処理できるように対策しよう。

入試日程

統一地区：募集人数が多く、合格チャンスが一番大きい入試です。

④ 一般選抜

	2023年 1月	2月	3月	
統一地区	出願期間 1/10☒~1/18☒ 必着	試験日 1/26☒ 1/27☒	合否発表 2/1☒ 入学手続締切 [一括・分納一次] 2/6☒ 入学手続締切 [分納二次] 2/9☒	
1期 [共通テスト併用型]	出願期間 1/10☒~2/3☒ 必着	試験日 2/6☒	合否発表 2/13☒ 入学手続締切 [一括・分納一次] 2/16☒ 入学手続締切 [分納二次] 2/21☒	
2期 [共通テスト併用型]		出願期間 1/10☒~2/24☒ 必着	試験日 2/27☒ 合否発表 3/4☒ 入学手続締切 [一括] 3/8☒	

④ 大学入学共通テスト利用入試

	2023年 1月	2月	3月
A日程	出願期間 1/10☒~2/2☒ 必着	合否発表 2/13☒ 入学手続締切 [一括・分納一次] 2/16☒ 入学手続締切 [分納二次] 2/21☒	
B日程		出願期間 1/10☒~3/3☒ 必着	合否発表 3/10☒ 入学手続締切 [一括] 3/17☒

④ 総合型選抜（共通テスト利用型・併願可）

	2023年 1月	2月
	出願期間 1/10☒~1/31☒ 必着	合否発表 2/13☒ 入学手続締切 [一括・分納一次] 2/16☒ 入学手続締切 [分納二次] 2/21☒

④ 英語コミュニケーション学科 AO入試（併願可）

	2022年 12月
	出願期間 12/2☒~12/16☒ 必着 合否発表 12/22☒ 入学手続締切 12/27☒

CHECK! インターネット出願実施

東京家政大学の入試は「WEB出願」です。紙の願書の取り寄せの必要はありません。

※特別入試等一部の入試を除く。詳しい手続き方法は入試要項をご確認ください。

※受験科目など入試の詳細については大学ホームページより各入学試験要項をご確認ください。



【板橋キャンパス】 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
（問い合わせ先） TEL:03-3961-5228（アドミッションセンター）
大学ホームページ https://www.tokyo-kasei.ac.jp/

入試情報は
こちら!



マナビジョン EXPRESS

編集 マナビジョン編集部 発行株式会社 道研アールエス 住所 〒163-0414 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング

マナビジョン EXPRESS

東京家政大学の協力を得て、マナビジョンブック編集部がレポートします。

入試攻略特集 東京家政大学編

まずはチャレンジできる入試方式を調べよう! 東京家政大学の場合は……

④ 大学入学共通テスト利用入試

大学入試センターの実施する試験を受験し、その成績を大学・短大が利用して選抜する入試です。A日程とB日程の2日程があります。

- ココが POINT!
- 各学科・科・専攻の利用科目を満たしていれば、同じ日程の中で複数併願することができます。
 - 選択科目を規定数以上受験している場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。本人が申し出る必要はありません。
 - 「選択科目の中で2教科2科目、ただし国語、外国語いずれか1教科1科目選択必須とする」とあるものについては、国語と外国語の2科目の組み合わせでもよい。
※大学入試センターが実施する大学入学共通テストを受験しなければこの入試制度を利用することはできません。

④ 総合型選抜（共通テスト利用型・併願可）

高等学校での活動や、自分自身の特技・長所を記入した自己推薦書と高等学校からの調査書（学習成績の状況）を評価します。さらに、大学入学共通テスト（学科・科指定2科目/3科目）の得点も併せて選抜します。

TOPICS

合格に向けて
入試のポイントをおさよう!

■ 統一地区入試

募集人数も多く、合格チャンスが一番大きい入試です。統一地区入試は、全国10地区で実施。ご自宅の近くの会場を選んで受験することができます。

2023年	実施地区
1/26☒	水戸・長野・富山・高崎・宇都宮・東京板橋
1/27☒	仙台・新潟・甲府・静岡・東京板橋

※看護学科は、1/26・1/27ともに東京板橋のみ受験可

■ 入学検定料併願割引制度

一般選抜および大学入学共通テスト利用入試では、本学を複数出願する場合に検定料の割引があります。

一般出願（1出願：34,000円）	2出願目以降：同日併願 1出願ごと 10,000円 他日併願 1出願ごと 20,000円
大学入学共通テスト利用入試（1出願：14,000円）	2出願目からは： 10,000円

※入試の詳細については大学ホームページより各入学試験要項をご確認ください。

東京家政大学の一般選抜を科目別に攻略!

東京家政大学の

国語

JAPANESE

出題傾向

評論読解が1題、小説読解が1題の計2大問構成での出題。本文の内容理解を問う設問が出題の大半を占めており、複数の文章や図表、会話文を含んだ設問など多様な形式で内容理解が問われる。複数の文章と図表を読み解き

推測させる設問や、表現の効果や文章の構成を問う設問など、文章全体について多角的かつ本質的な理解が問われる入試問題といえる。

出題分野

DATA	読解 58%	知識 19%	漢字 23%
------	-----------	-----------	-----------

評論読解・小説読解ともに、文章の内容理解を問う設問が出題の大半を占める。漢字や語句の意味を問う知識問題もバランスよく出題される!

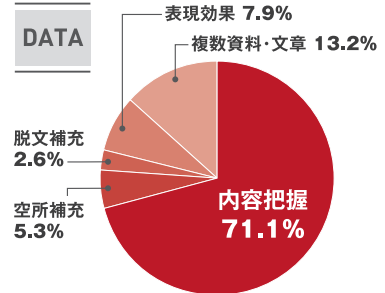
大問1は評論読解、大問2は小説読解が出題される。大問1の評論読解では、「地域復興」をテーマとして具体例を多く含んだ文章が出題され、同一作品の中から2箇所を切り取る形式で、複数の文章と、関連するグラフ1つが出題された。典型的な内容読解設問に加えて、生徒5人の会話文が選択肢となり本文の内容理解を問う設問や、複数の文章と図表を関連づけて推測した内容を問う設問、仮説として正しい内容を選択させる設問など、目新しい形の読解問題も複数出題された。

大問2の小説読解では、ソーシャルゲームの開発会社を舞台とした小説作品が出題。こちらも、オーソドックスな登場人物の心情や様子を問う設問に加えて、表を用いて場面ごとの正しい読み取り内容を選択させるようなオリジナリティのある設問が出題された。また、評論読解では漢字問題、小説読解では本文中で用いられている語句の意味を問う知識問題も出題される。正しく文章を読み解くだけでなく、これらの設問に対応するためにも知識を身につけることが大切だ。

出題形式

正誤選定や、複数の文章・図表・会話文を用いた設問を通して、多角的な文章理解が問われる!

すべて選択式の設問で構成されている。読解問題では、内容や理由、表現に関する正誤判定設問が出題される。正誤判定設問は、本文中の傍線部を問う設問が大半を占めるが、本文全体に関する内容を問う設問や表現の効果を問う設問も出題されており、文章全体を正しく読み解く力が求められている。また、2022年度入試では、複数の文章や図表を用いた設問が多く出題され、文章と図表を関連づけて正しく説明している選択肢を解答するといった、特徴的な読解問題も出題された。このような思考力が問われる設問にも対応できるよう、過去問題集を確認し対策を行おう。



東京家政大学 国語の攻略法

1 攻略法 評論読解では、部分内容の丁寧な読解と時間内に本文全体を通読する練習を積もう!

評論読解では、本文中の傍線部に関する内容・理由説明設問の出題を通じた部分読解が問われるため、問題集や過去の入試問題に取り組んで、丁寧に読み取る練習を積もう。また、本文全体に関する表現や構成を問う問題や、内容合致問題も出題されるため、日々の学習の中で、文章全体の流れや特徴を意識して通読する習慣をつけよう。

2 攻略法 漢字・語句に関する基礎知識を幅広く身につけよう!

漢字や語句に関する知識も問われるため、問題集などを使用して、入試に向けて計画的な学習を進めていこう。日々の学習の中でわからなかった語句や漢字はその都度、意味や読みなどの関連知識をあわせて調べることを習慣づけると、効率的に知識を蓄積させることができる。

東京家政大学の

英語

ENGLISH

出題傾向

大問5題のうち、3題が読解問題となっている。長短いくつかの会話文を題材とする設問が特徴的といっていだろう。問題集なども利用して、様々な会話文に十分に慣れ親しんでおく必要がある。オーソドックスな長文読解問題2題では、論説文が取り上げられる傾向があるようだ。そこでは、文脈や論旨を的確に把握する力が求められる。また、統計グラフや図表を参照しな

がらの読解を求める設問が、今後も重視され続けると思われる。数字や記号に苦手意識のある受験生は要注意だ。基本的な文法・語い問題では高得点を狙いたいところ。問題練習の繰り返しが有効である。整序英作文対策も怠れない。そのためには、基礎となる文法・語いをしっかり習得しよう。

出題分野

DATA	読解 58%	文法 28%	英作文 14%
------	-----------	-----------	------------

会話文と論説文の読解力が重視される!

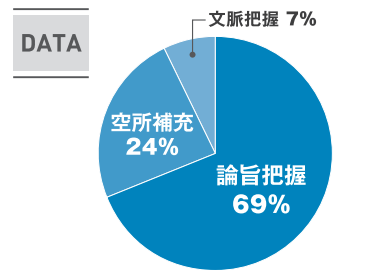
2022年度、文法・語い力を問う大問Iでは、「めったに～しない」の意のrarelyや「～の3分の2」の意のtwo thirds of ～などの出題があった。IIは会話文の読解で、小問が10題。会話から読み取れる状況を頭の中で思い浮かべられるようにしておきたい。IIIとIVは標準的な長文読解問題。IIIでは世界各国の教育事情を扱った英文が取り上げられた。「Education attainment in selected countries for individuals 25-34 year old」のグラフを見ながらの読解である。IVの英文は、人間の感情を読み取る

科学技術に関して述べたもの。「本文の表題として最も適切なもの」を選ぶ設問では、英文全体のテーマが理解できているかが問われている。Vは整序英作文だ。例えば「物事をよく考えぬまま信じるのは、危険だと思います」はどう表せばいいだろう? ここではI think it's dangerouslyに続く表現を問う出題になっていた。選択肢がなくても解答できる実力を身につけておきたい。

出題形式

読解問題では論旨に関わる問題の出題が多い!

大問が計5題で、全問マークシート方式。Iの空所補充問題では、基礎的な文法・語い力が試される。IIでは長短いくつかの会話文が示され、それぞれの状況や会話の流れを的確に把握する力を問うものになっている。IIIとIVはオーソドックスな長文読解問題で、いずれにおいても論説文が題材となる傾向があるようだ。英文の長さは400～500語程度と考えていだろう。2022年度のIIIでは統計グラフ付きの論説文が取り上げられたが、このタイプの出題は今後も続く可能性が高い。Vは整序英作文。「3番目と6番目に来る」語句を選択するという形式だ。整序英作文では基礎学力の有無によって得点差がつきやすいので、十分な対策が必要である。



東京家政大学 英語の攻略法

1 攻略法 様々な会話文に慣れ親しもう。論説文では文脈・論旨の把握を心がけて!

いろいろな状況設定の会話文を多読しておきたい。会話の様子を頭の中に描けるように意識した学習が有効だ。論説文については、400～500語程度の英文の精読に力を入れよう。入試で最も重要視されるのは、文脈や論旨の把握力である。グラフや図表の参照が必要な英文にも多く接しておこう。辞書や文法書もフル活用すべし。

2 攻略法 基礎的な文法・語いを確実にマスターしよう! 整序英作文の対策も忘れずに。

文法・語いに関する小問10題の出題は定着していると思われる。難問・奇問はみられないので、重要事項は完璧に習得して、ぜひとも高得点を目指したいところだ。整序英作文では実力の差が表れやすい。基礎的な文法・語いをマスターしたうえで、問題練習の積み重ねに力を入れよう。短い英文を暗記してしまうことも有効だ。

東京家政大学の

生物基礎

BIOLOGY

出題分野

DATA	生物の体内環境の維持 41%	生物と遺伝子 40%	生物の多様性と生態系 19%
------	-------------------	---------------	-------------------

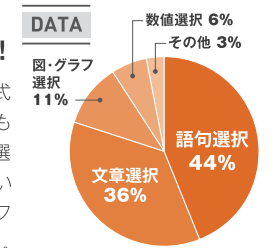
生物基礎の全分野から出題。基本的な知識を活用できるかが問われる!

生物基礎の全分野が出題範囲であり、問題数としては「生物の体内環境の維持」「生物と遺伝子」からの出題が多いが、どの分野においても偏りなく、広く問われている。2022年度は、「動物の体液濃度調節」について、腎臓の再吸収のしくみやホルモンの作用などの基本的な知識や、食塩感受性高血圧に関するグラフの読み取り、甲殻類の体液濃度維持に対する考察が必要な問題が出された。教科書で馴染みのある題材から初見の題材まで、様々な現象を扱った問題が出されているため、教科書の基本的な知識を十分理解したうえで、それらを活用できる力が求められている。

出題形式

しくみや現象を正確に理解し、それらを考察する力が求められる!

解答はすべて選択式で40問。主な出題形式は、語句選択・文章選択であったが、いずれも用語や現象、実験結果として適切なものを選ぶ問題が多かった。また、多くの大問で、正しいしくみを表している図を選んだり、表やグラフが示す内容を考察したりする出題があった。計算問題も出題されており、DNAにおけるアミノ酸を指定する塩基配列が占める割合、細胞周期の時間などが問われた。リード文の内容を正確にとらえ、いずれの形式の出題も、一つずつ丁寧に解答していきたい。



東京家政大学 生物基礎の攻略法

1 まずは基本を押さえよう! 教科書での丁寧な理解を大切に。

最初に、教科書にある基本的な知識の定着に取り組もう。ただし、入試では、教科書の本文がそのまま出題されるわけではない。現象やしくみを自分の言葉で説明できるくらいに理解を深めておきたい。そのためには、教科書だけでなく、授業ノートや参考書なども活用し、本文以外の内容も丁寧に理解していくことが重要である。

2 身近な現象や実験を把握し、多様な出題形式に取り組んでおこう!

入試で扱われている題材のほとんどは、教科書に載っている身近な現象や実験、またはそれに類似したものである。したがって、教科書や図説を用いて、それらを把握・理解していくことから始めたい。また、選択式の問題だけにこだわらず、用語説明や実験考察、計算などの多様な問題に触れ、知識を活用する力をつけていこう。

東京家政大学の

数学

MATHEMATICS

出題分野

DATA	2次関数 29%	図形と計量 21%	数と式 16%	場合の数と確率 16%	整数の性質 8%	データの分析 5%	図形の性質 5%
------	-------------	--------------	------------	----------------	-------------	--------------	-------------

出題範囲の全単元より出題。会話形式で読解力が必要な問題が出題された!

出題範囲は数学I・A。2021年度は3大問、2022年度は4大問に増えたがマーク数は54個で変わりなかった。大問1は9問の独立した小問、大問2以降は単分野からの出題であった。また、2021年度ではグラフソフトを利用した2次関数の問題、2022年度には会話文で誘導のある図形と計量の問題が出題されたのが特徴的である。問題の難易度は、定理・公式を使いこなす標準レベルであり、教科書の内容をしっかりと理解しておく必要がある。

東京家政大学 数学の攻略法

1 苦手分野を残さない! 教科書の内容をしっかりと理解しよう!

出題範囲のすべての分野から出題されるため、苦手分野は早めに克服しよう。これまでのテストや模試などを見直して、苦手な分野を特定したら、教科書や問題集の基礎問題を繰り返し書き、定理・公式を身につけることから始めよう。

2 形式演習は必須! 正確に、効率よく解答する力をつけよう!

出題形式や問題数、問題のレベルを踏まえて、できるだけ時間をかけずに、かつ正確に解ききる力が必要である。そのために、問題は必ず最後まで自力で解くこと、また、ミスを防ぐためにも、途中過程をできるだけ丁寧に書くことを意識して、日頃の演習に取り組もう。

